Risk Communication Institute of Japan

RCIJ Guide

Ver.1.2021





© Risk Communication Institute of Japan.

危機を好転する コミュニケーションを学ぶ

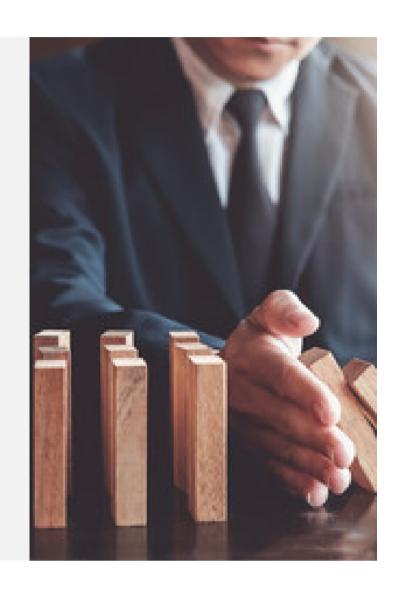
「有事の際に、内外のステークホルダーと適切なコミュニケーションを図ること。これを迅速に進めるため、平時より準備を進めること」日本リスクコミュニケーション協会(RCIJ)ではリスクコミュニケーションをこのように定義しています。

不確実性が高まる現代において、リスクコミュニケーションのスキルを持った人材の需要が高まっています。あなたの大切な組織を守るために、新たな知見を身につけましょう。

INDEX

目次

- 01 世界潮流における レピュテーションリスク
- 02 RCIJ会員について
- 03 認定講座について
- 04 協会概要



世界潮流における レピュテーションリスク



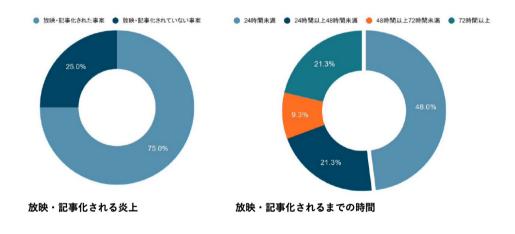
増加する炎上

国内:デジタルクライシス調査会社

Web炎上した場合、**75%**がマス メディアで放映・記事化

Web上で炎上した場合、75%はマスメディア・ネットメディアで放映・記事化され、48%は24時間以内にメディアに登場します。

有事の際、企業に求められる初動対応のスピードは12~24時間以内とされています。中規模以上の炎上では株価が下落で平均0.7%下落し、中には18%も下落する例も



出典:デジタル・クライシス総合研究所(2021) 「デジタル・クライシス白書 2021」

危機管理強化は急務

海外:大手コンサルディング会社 PWC

95%が危機管理機能を改善する必要あると回答

大手コンサルティング会社PWCが2021年に発表した、2814名のビジネスリーダーへ調査した「Global Crisis Survey 2021」では「ビジネスリーダーのうち95%が、危機管理機能を改善する必要がある」と報告しています。世界中のトップクラスのビジネスリーダー達が示すように今世界中で危機管理改善が急務であることが示されています。



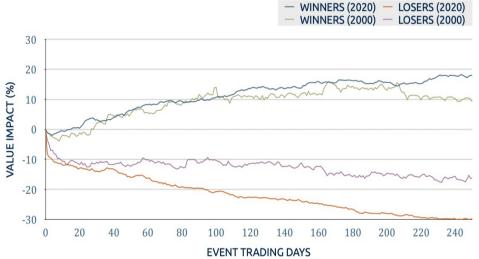
出典:Global Crisis Survey 2021 https://pwc.to/3k90HGc

危機対応は企業価値に影響

海外:イギリスPentland Analytic社

株価に20~30%影響。危機対応 により明暗をはっきり分ける

イギリスのリスクマネジメント系のリサーチ会社が2020年に発表した「リスクマネジメントと企業価値の関係性に関する報告書」によると、危機に直面した後であるにもかかわらず株価を上げた企業は、危機発生後1年の間に株価が市場期待値より20%上回り、逆に株価を下げた企業は、30%下回った。



出典: Risk, Reputation and Accountability
A GOVERNANCE PERSPECTIVE OF DISRUPTIVE EVENTS

RCはチームの生産性を高める

Googleの研究からわかった最高のパフォーマンスを発揮できるチームの要素「心理的安全性」

心理的安全性の高いチームは離職率が低く、収益性が高い

リスクコミュニケーションができている職場 では管理すべきリスクについて話し合う場が あり、リスク管理がされていて有事の際に内 外のステークホルダーと適切なコミュニケー ションがとれるよう対策が取られています。 これにより「心理的安全性」が確保され、社 員が不安に悩まされることはありません



出典:Google re:Work

RCIJ会員について



RCIJ会員のメリット

相互にレベルアップできる環境で、最新のリスクトレンド情報をアップデート



オン/オフ コミュニティへの参加

RCに関する交流会、分科会、コミュニティの設置:オンライン、もしくはオフラインで会員同士が交流する場を設けてまいります



最新リスクトレンド レポートが届く

定期的に最新事例やGood Practice、国内外の調査報告書など、リスクコミュニケーションに役立つレポートを配信しています



講座10%オフ

会員様は、資格認定講座 を10%OFFで受講するこ とが可能です



セミナー割引

年に数回、公開・非公開のイベント・セミナーを開催してまいります。一部を除き、会員様には割引価格にて提供を予定しております

RCIJ会員種別

会員種別には一般会員と法人会員の2種類があります

一般会員

当協会の趣旨に賛同し、現役、OB問わず、RC関連領域に関心を有する全ての個人様(学識者、広報、PRパーソン、経営管理部門、人事、総務、労務、行政担当、議員秘書など、幅広い業務に携わる方々を歓迎します。)

入会金・・・10,000円

- 個人会員・・・年会費 10,000円
- 2 学生会員・・・年会費 3,000円



Webサイトにて 会員登録申し込み

https://school.rcij.org/bundles/rcij-membersonly

会員申込フォームに入 力し、決済を済ませる



登録・決済完了 メールを受信

会員登録・決済 完了メールを受 信する



会員コンテンツ にログイン

学習システム上 にログインし、 会員コンテンツ にアクセス

RCIJ会員種別

会員種別には一般会員と法人会員の2種類があります

法人会員

当協会の趣旨に賛同しRCに取り組まれる法人様(民間・ 行政、教育機関、NPOなど幅広い法人を対象としていま す。) 入会金・・・10,000円

- 1 大企業法人会員・・・ 年会費 100,000円
- 2 一般法人会員 ・・・ 年会費 50,000円
- *大企業の定義は「中小企業基本法」で定められている中小企業の条件を参考にしています *法人会員については、入会月により減額制度あり



入会申込書を メールにて送付

法人入会申込書に必要 事項を記載しメールを 送信contact@rcij.org



理事会にて 入会審議

理事会で承認後、年 会費の請求書を協会 よりメールにて送付 致します。



ご入金

法人会員のみ、入会月 により金額が異なりま す。年会費は前納一括 となりますのであらか じめご了承ください。



会員登録 ログイン

お申し込み時に申請い ただいたメールアドレ スにて学習システムに ログインし、会員コン テンツにアクセス

認定講座について

03



リスクコミュニケーションとは

有事の際に、内外のステークホルダーと適切なコミュニケーションを図り、 これを迅速に進めるため、平時より準備を進めるスキル

用語	平時	有事	例:火災発生	例:病気にかかった
リスク コミュニケーション	0	0	そもそも火事が起きないように 消防訓練や予防対策を行い 火災発生時に消火と コミュニケーションを実施	予防医学+医療 日常から手洗いうがい等を行い 緊急を要する場合 <mark>手術を行い</mark> 、 <mark>内外へのコミュニケーション</mark> を実施
リスク管理 (リスクコントロール) (リスクマネジメント)	0	Δ	消防訓練	健康診断
危機管理 (クライシスマネジメント) (クライシスコントロール)	\triangle	0	火事が起きた際の消火活動	手術・治療
危機管理広報 (クライシスマネシメントPR/コミュニケーション) (クライシスコントロールPR/コミュニケーション)	0	0	(平時からの備えは前提に) 火事が起きた際に内外へ広報活動	(平時からの健康留意は前提に) 緊急手術の実施と術後の内外へ広報活動

リスクコミュニケーターの役割

レピュレーションリスクを最小化するため、 平時に、経営に関する各専門分野の知識を広く習得し、事前準備とマネジメントを行い、 有事に、各ステークホルダーに対して適切なコミュニケーションをとる



RCIJが展開する講座の特徴

未経験から最高の学習効率でリスクコミュニーションのスキルを習得できる



全ての授業が フルオンラインで受講



第一線で活躍する講師陣



ファシリテーター+講師& 双方向形式の授業だから わかりやすく学べる



短期集中スタイルで結果が出る



未経験からでもRCの 専門知識が身に付く



気軽に講師に 質問できるから挫折しない

講師陣

国内外の前線で活躍する危機管理のトップランナーが集う



大杉春子RCIJ代表理事
コミュニケーション戦略アドバイザー



小川義龍 小川総合法律事務所所長 弁護士



木村恭子 日本経済新聞社 編集委員



昆正和 事業継続研究家 BCP/BCM策定・運用アドバイザー



白井邦芳 社会情報大学院大学教授 危機管理コンサルタント



永岡英則 株式会社CARTA HOLDINGS 取締役 CFO



細窪政 GACC合同会社代表社員



山口真一 経済学者/国際大学准教授 東京大学客員連携研究員

資格取得のメリット

- 1 個人や、在籍する団体の価値向上につながる
- 2 最先端のRCスキルを身につけて重宝される人材に なる
- 3 RCスキルを駆使し、組織の課題解決ができるよう になる
- 4 継続的に、技能のレベルアップが図れる

こんな方におすすめです

- ・広告制作会社、マーケティング、広報関係者など「炎上」リスクに正しく対応したい方
- ・所属する組織を、レピュテーションリスクから守りたい方
- ・リスクテイクに必要な知見を身につけ、経営陣のサポートをしたい方
- ・コンサルタントや個人事業主など新たなスキルを身につけ、顧客をサポートしたい方
- ・上場を視野に入れている企業の方、事業継承予定者
- ・経営層、経営管理部門責任者で危機発生時のコミュニケーション人材の発掘を考えている方
- ・社外取締役、監査役
- ・議会議員、政治家、行政担当者

講座の種別

「危機を好転するコミュニケーション」スキルが体系的に学べる3種の認定資格講座と専門講座



RC技能認定第一種

受講料:195,800円(税込)



認定RCアドバイザー

受講料:317,900円(税込)



認定RCエキスパート

COMING SOON

3種の認定資格講座の他、「行政担当者向けリスクコミュニケーション実践講座」 (受講料49,800円税込)をはじめ、各種ご要望に応じた専門講座を展開しています

受講から資格取得までのながれ

未経験から最高の学習効率でリスクコミュニーションのスキルを習得できる



①お申し込み

RCIJ学習サイトにて 受講講座の申込み(購 入)をする



②受講申込 完了メール

受講講座の申込完了をメールにてお知らせ



③受講準備案内

RCIJ学習サイト内の受講 コース内のガイダンスを 確認する



④オンライン講座開始

各受講期限内にリアルタイムもしくはアーカイブで受講



5課題提出

各授業の受講後に課 題提出



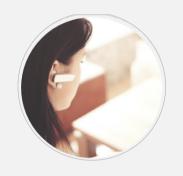
6認定資格取得

理解度確認小テストと課題レポートによる総合評価にて一定水準を満たすと、RC技能認定第1種の資格が授与されます

パソコンとネット環境



インターネット接続用デバイスデバイスに接続するマイク、カメ



パソコンとネット環境 ヘッドフォン・マイク

(PC,タブレット、スマートフォン) ラ、イヤホンまたはスピーカー



ソフトウェア

PDFの閲覧、Word・Excelの使 用ができること(講義時に Word・Excelのツールなどを配 布することがあります)



セミナー割引

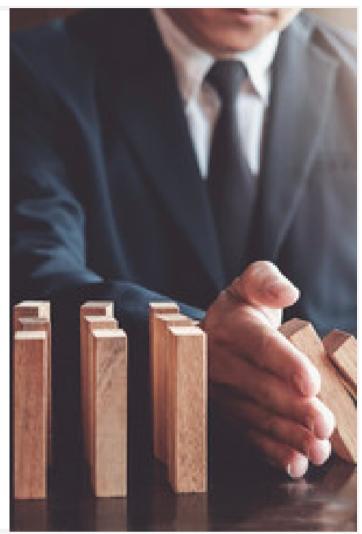
オンライン講座を受講する には受講システム(Zoom)の アプリケーションをインストー ルする必要があります。

*オンライン講座ではアプリケーションをイン ストールいただいた上での接続をお願いしてお ります。

*アプリケーションは最新版をインストール してください

協会概要

04



RCIJの活動

RCIJは、日本が世界一の危機管理先進国になる環境を目指して、「リスクコミュニケーションのエキスパート」の育成・輩出に取り組んでいます



教育事業





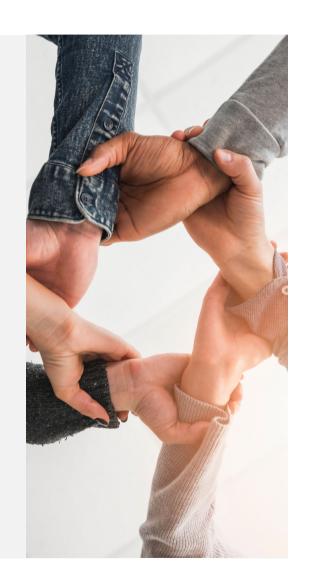
コミュニティの 形成/運用

VISION

日本が世界一の危機管理先進国になる環境を創る

有事の際、国や組織は内外のステークホルダーと適切なコミュニケー ションをとることが必要不可欠です。

私たちRCIJは、コミュニケーションを円滑にするスキルを持った人材の育成を通じて、全ての人が安全に安心してはたらける環境を創造します。そのためには広く経営を理解し、事業継続にまつわるBCP、BCMの基礎知識を持ち、関係する各部門と連携できる人材を有する組織を増やすことが必要です。有事でも、慌てず迅速に力強く、柔軟でしなやかなコミュニケーションがとれる人材を育成することを主眼に置き、中長期的な日本社会全体の危機管理力の向上に寄与します。



協会概要

名 称 :一般社団法人 日本リスクコミュニケーション協会 (略称:RCIJ)

英 名 : Risk Communication Institute of Japan

事業内容:1.eラーニングを中心としたセミナーの開催

2. リスクコミュニケーション技能認定講座と資格の提供

3. コミュニティの形成と運用

設 立 : 2020年7月6日

所在地 : 東京都台東区雷門2-6-1 雷門ミハマビル 3F

URL: rcij.org



組織・体制

代表理事 大杉 春子 レイザー株式会社 代表取締役社長

副代表理事 岡田 直子 株式会社ネットワークコミュニケーションズ 代表取締役

理 事 太田 滋 ビルコム株式会社 代表取締役兼CEO

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科 客員講師

小川 義龍 弁護士 危機管理・コンプライアンス 管理指導企業顧問

昆 正和 事業継続研究家・BCP/BCM策定・運用アドバイザー

柴山 慎一 社会情報大学院大学 広報・情報研究家教授

白井 邦義 危機管理コンサルタント・一般財団法人リスクマネジメント協会顧問

藤吉 雅春 Forbes JAPAN 編集部 編集長

細窪 政 グレートアジアキャピタル&コンサルティング合同会社(GACC)代表社員

山口 真一 経済学者・国際大学教授・東京大学 客員連携研究員

矢嶋 聡 株式会社メルカリ グループ広報責任者

監事田畑正吾サイボウズ株式会社 監査役

株式会社サンブリッジコーポレーション ジェネラル・パートナー

お問い合わせ

ご質問・ご相談先

日本リスクコミュニケーション協会事務局 担当:谷口

<u>電話番号</u> 03-5830-8970 メールアドレス contact@rcij.org

